

〈解答〉

- ① 1 七
2 分析的
3 イ
4 ウ
5 ウ

配点 各2点 10点満点

〈解説〉

- ①
1 「持ち上げたり／背負ったり／して／得た／知識も／もって／いる」と分けることができる。
2 「総合」とは「さまざまなものを一つに合わせまとめること」で、「分析」は「複雑な事柄を、一つ一つの要素や性質に分けること」である。
3 アは「寒心」で「おそれぞっとすること」、ウは「歡心」で「うれしいと思う心」、エは「関心」で「気にかけること」である。イは「感心」で「ほめるべきだと思うことやその様子」である。
4 ②段落の冒頭に「同じように」という言葉があるため、この段落には、①段落で挙げられた「眼の記憶」と「同じよう」な働きを持つ「記憶」(↓「手の記憶」「身体の記憶」)について述べられているとわかる。さらに、②段落の後半では、①段落で提示された「記憶とは、すべて知識として存在するものだろうか」という問題提起に対する筆者の答えが、「過去の記憶もまた、知識だけでは手に入れることのできない総合的な記憶として残されていく」、つまり、「記憶は、知識としてだけ存在するのではなく、総合的な記憶としても残されていくのである」と述べられているのである。よって、「①段落に挙げた具体例の類例を示し」、「筆者自身が文章中で提起した疑問に対して答えを述べる」とある、ウが正解だとわかる。
5 ア「失われた過去となってしまう歴史を切り捨て」、イ「記憶と知識とは全く無関係のもの」、エ「歴史を作り出すという視点で物事を考えるべき」の部分が適当ではない。